

## 第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」実施要綱

### 1 目的

全国障害者スポーツ大会は、障がいのある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的とした障がい者スポーツの全国的な祭典である。

佐賀県で開催する第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」は「新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。」をメインメッセージに掲げ、「する」「観る」「支える」の視点から、選手も、選手でない人も参加できる大会、エンターテインメント性の高い大会、みんなで力を合わせ、つくる大会とする。

感動する。魂が揺さぶられる。年齢や国境を越えて、人と人がつながる。心身ともに健やかになる。スポーツには、人間の根源的な喜びを生み出すチカラがある。障がいのある人もそうでない人もすべての人にスポーツの力を届ける、新しい大会を目指す。

### 2 名称

第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」

### 3 大会メッセージ

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

### 4 主催

公益財団法人日本パラスポーツ協会、文部科学省  
佐賀県、佐賀市、唐津市、鳥栖市、伊万里市、鹿島市、小城市、嬉野市、基山町、上峰町、白石町、太良町、一般社団法人佐賀県パラスポーツ協会、佐賀県障がい者スポーツ指導者協議会、社会福祉法人佐賀県社会福祉協議会、一般社団法人佐賀県身体障害者団体連合会、佐賀県精神保健福祉連合会、一般財団法人佐賀県手をつなぐ育成会、一般社団法人佐賀県視覚障害者団体連合会、一般社団法人佐賀県聴覚障害者協会、佐賀県難聴者・中途失聴者協会、佐賀県特別支援学校長会、公益財団法人佐賀県スポーツ協会

### 5 競技運営主管団体

一般財団法人佐賀陸上競技協会、一般社団法人佐賀県水泳連盟、佐賀県アーチェリー協会、佐賀県卓球協会、佐賀県障害者フライングディスク協会、佐賀県ボッチャ協会、佐賀県ボウリング連盟、一般社団法人佐賀県バスケットボール協会、一般社団法人佐賀県ソフトボール協会、佐賀県グランドソフトボール協会、佐賀県バレーボール協会、一般社団法人佐賀県サッカー協会

### 6 後援

厚生労働省、公益財団法人日本スポーツ協会、社会福祉法人全国社会福祉協議会、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会、一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会、公益財団法人日本知的障害者福祉協会、公益社団法人日本精神保健福祉連盟、公益財団法人JKA、公益社団法人日本医師会

## 7 特別協賛

大同生命保険株式会社

## 8 協賛

### (1) JAPAN GAMES・大会パートナー（3社（団体））

松尾建設株式会社、医療法人社団如水会 今村病院、五光建設株式会社

（令和6（2024）年4月4日現在）

### (2) オフィシャルスポンサー（8社（団体））

NTT西日本 佐賀支店、一般社団法人佐賀県建設業協会、  
株式会社中野建設、株式会社地域みらいグループ、大和証券株式会社、  
株式会社佐賀新聞社、株式会社サガテレビ、五光工業株式会社

（令和6（2024）年4月4日現在）

### (3) オフィシャルサポーター（36社（団体））

佐賀県信用保証協会、佐賀県スポーツ用品協同組合、株式会社学映システム、  
佐賀県中小企業団体中央会、株式会社佐電工、宮島醤油株式会社、  
公益財団法人原田記念財団、公益財団法人佐賀県建設技術支援機構、  
株式会社ヨコブリシ、佐賀県商工会議所連合会、佐賀県商工会連合会、  
森鉄工株式会社、メック株式会社、株式会社中島製作所、株式会社戸上電機製作所、  
大和産業株式会社、久光製薬株式会社、株式会社佐賀銀行、  
学校法人永原学園 西九州大学、一般社団法人佐賀県造園建設業協会、  
住友生命保険相互会社 佐賀支社、株式会社佐賀鉄工所、牟田建設株式会社、  
株式会社ミス、佐賀ターミナルビル株式会社、株式会社エフエム佐賀、  
医療法人ひらまつ病院、有限会社川代テント工業、株式会社アクト、  
祐徳薬品工業株式会社、九州電力株式会社 佐賀支店、株式会社サガシキ、  
佐賀県食糧株式会社、株式会社佐賀電算センター、理研農産化工株式会社、  
株式会社上滝建設

（令和6（2024）年4月4日現在）

### (4) オフィシャルサプライヤー（26社（団体））

佐賀県オールドヨタ、佐賀ダイハツ販売株式会社、ホンダカーズ佐賀株式会社、  
西九州マツダ株式会社、一般社団法人佐賀県バス・タクシー協会、  
祐徳自動車株式会社、株式会社アパナビ、山口産業株式会社、  
昭和自動車株式会社、西鉄バス佐賀株式会社、株式会社日産サティオ佐賀、  
全国マツダ労働組合連合会、アースアクト株式会社、ウィンワークス株式会社、  
JAグループ佐賀、株式会社スーパーモリナガ、一般社団法人佐賀県医師会、  
ヤマト運輸株式会社 佐賀主管支店、コープさが生活協同組合、

日本郵便株式会社、朝日テクノ株式会社、株式会社SUMCO 九州事業所、  
昭和フード株式会社、東洋ビューティ株式会社、株式会社城山、株式会社ローソン

（令和6（2024）年4月4日現在）

### (5) 大会協力企業（68社（団体））

株式会社ルイ高、野中建設株式会社、Cottage Ureshino、  
医療法人卓悠会 さが駅前眼科、株式会社コンドウ企画、株式会社佐賀工房、  
有限会社佐嘉の糸、日本乾溜工業株式会社 佐賀支店、株式会社西原商会九州、

株式会社プレナス、株式会社 SCREEN グラフィックソリューションズ、  
株式会社ブルーム、株式会社ヒライ、コープさが生活協同組合、  
公益社団法人佐賀県看護協会、ライオンズクラブ国際協会 337-C 地区 1 R・2 Z、  
株式会社永池、ギフトサンジョー、株式会社ワイビーエム、株式会社鶴屋菓子舗、  
株式会社一ノ瀬畜産、医療法人ファースト くさの耳鼻咽喉科・小児科、  
株式会社ヨコオ、シンエイメタルテック株式会社、株式会社葉隠緑化建設、  
株式会社ファーストリバー、株式会社商工組合中央金庫 佐賀支店、  
佐賀県信用金庫協会、昭和メンテナンス工業株式会社、  
西日本ブレーンサービス株式会社、サンポー食品株式会社、田島株式会社、  
株式会社豆田組、シマウチエンジニアリング株式会社、九州住電精密株式会社、  
株式会社 Liam、株式会社鶴池造園、株式会社イーダブリュエムファクトリー、  
株式会社トヨタレンタリース佐賀、合同会社ロジスト、真生工業株式会社、  
株式会社中山ホールディングス、株式会社大橋、株式会社宮園電工、  
株式会社トラベル佐賀、シゲマツ不動産有限会社、唐津瓦斯株式会社、  
株式会社佐賀共栄銀行、株式会社関家具、中国塗料株式会社、株式会社森光商店、  
佐賀酒類販売株式会社、株式会社東洋新薬、東島電気工事株式会社、香、  
株式会社北島、山代ガス株式会社、正宝電気株式会社、有限会社フィンセーブ、  
株式会社さかえフーズ、ホテルニューオータニ佐賀、九州ミロク会計人会、  
株式会社サン海苔、田中建機工業株式会社、株式会社ミッド佐賀、  
一般社団法人佐賀県警備業協会、株式会社大原老舗、有限会社有森商店  
(令和6(2024)年4月4日現在)

#### 9 協力企業・団体 (28 団体)

国立大学法人佐賀大学、学校法人永原学園西九州大学、  
学校法人永原学園西九州大学短期大学部、学校法人旭学園佐賀女子短期大学、  
学校法人九州アカデミー学園九州医療専門学校、  
学校法人九州アカデミー学園アカデミー看護専門学校、  
学校法人巨樹の会武雄看護リハビリテーション学校、医療福祉専門学校緑生館、  
佐賀市医師会立看護専門学校、一般社団法人唐津東松浦医師会唐津看護専門学校、  
一般社団法人武雄杵島地区医師会武雄看護学校、  
一般社団法人伊万里・有田地区医師会伊万里看護学校、  
独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター附属看護学校、  
佐賀県医療センター好生館看護学院、佐賀県立牛津高等学校、  
佐賀県立神埼清明高等学校、佐賀県立多久高等学校、佐賀県立嬉野高等学校、  
佐賀県立唐津青翔高等学校、学校法人旭学園佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校、  
学校法人伊万里学園敬徳高等学校、  
特定非営利活動法人佐賀県中途失聴・難聴者協会、佐賀県手話通訳士協会、  
特定非営利活動法人全国要約筆記問題研究会佐賀支部、佐賀県手話通訳問題研究会、  
公益社団法人佐賀県理学療法士会、一般社団法人佐賀県作業療法士会、  
公益社団法人佐賀県柔道整復師会、一般社団法人佐賀県鍼灸マッサージ師会、  
一般社団法人佐賀県医師会、一般社団法人佐賀県歯科医師会、  
公益社団法人佐賀県看護協会、株式会社オーエックスエンジニアリング、  
日進医療器株式会社

(令和6(2024)年4月4日現在)

10 大会期日  
令和6（2024）年10月26日（土）～28日（月）

11 実施競技、開催期日及び会場

実施競技		開催期日	会場名
開会式		10月26日（土）	SAGAサンライズパーク SAGAスタジアム
閉会式		10月28日（月）	SAGAサンライズパーク SAGAアリーナ
個人 競技	陸上競技（身・知）	10月26日（土） ～28日（月）	SAGAサンライズパーク SAGAスタジアム
	水泳（身・知）		SAGAサンライズパーク SAGAアクア
	アーチェリー（身）	10月27日（日）	鹿島市陸上競技場
	卓球（身・知・精） 【サウンドテーブルテニス（身）を含む】	10月26日（土） ～27日（日）	基山町総合体育館 基山町民会館
	フライングディスク（身・知）	10月26日（土） ～28日（月）	伊万里市国見台陸上競技場
	ボッチャ（身）	10月26日（土） ～27日（日）	U-Spo （嬉野市中央体育館）
	ボウリング（知）		ボウルアーガス
団体 競技	バスケットボール（知）	10月26日（土） ～27日（日）	唐津市鎮西スポーツセンター 体育館
	車いすバスケットボール（身）		唐津市文化体育館
	ソフトボール（知）		太良町B&G海洋センター 運動広場
	グランドソフトボール（身）		白石町総合運動場 （白石中央公園多目的広場）
	バレーボール（身）		SAGAサンライズパーク SAGAアリーナ
	バレーボール（知）		サロンパス®アリーナ
	バレーボール（精）		小城市芦刈文化体育館
	サッカー（知）		10月26日（土） ～28日（月）
	フットソフトボール（知）	10月26日（土） ～27日（日）	上峰町中央公園多目的広場

（注） 身：身体障がい者が出場できる競技

知：知的障がい者が出場できる競技  
精：精神障がい者が出場できる競技

## 12 参加者及び出場資格

- (1) 大会の参加者は、都道府県・指定都市選手団、大会役員及び競技役員とする。
- (2) 出場選手は、次の全ての条件を満たす者とする。
  - ① 年齢は令和6（2024）年4月1日現在で13歳以上とする。
  - ② 資格要件は次のとおりとする。
    - (ア) 身体障がい者は、身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条の規定により、身体障害者手帳の交付を受けた者。
    - (イ) 知的障がい者は、厚生事務次官通知（昭和48年9月27日厚生省発児第156号）による療育手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障害のある者。
    - (ウ) 精神障がい者は、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条により、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障害のある者。
  - ③ 申し込み時に参加する都道府県・指定都市内に現住所（住民票のある地）を有する者。ただし、学校に通学している者及び施設に入所・通所している者は、その学校及び施設の所在地の都道府県・指定都市でも参加できるものとする。
- (3) 団体競技に出場するチームは、次のとおりとする。
  - ① 佐賀県の代表チーム
  - ② 公益財団法人日本パラスポーツ協会がブロック予選実施団体（一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟、社会福祉法人日本視覚障害者団体連合スポーツ協議会、一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会、一般社団法人全日本知的障がい者スポーツ協会及び公益社団法人日本精神保健福祉連盟精神障害者スポーツ推進委員会）と協議の上実施するブロック予選会により決定した都道府県又は指定都市の代表チーム。
  - ③ 指定都市及びその指定都市のある道府県において、単独で代表チームが編成出来ない場合に限り、道府県と指定都市の合同チームとして出場を認める。ただし、その場合はブロック予選会から合同チームとして出場しなければならない。
  - ④ ブロック予選会の実施が困難な競技については、公益財団法人日本パラスポーツ協会が選考したチーム

## 13 選手団予定人員

- (1) 選手 約3,640人
- (2) 役員 約2,000人

## 14 競技規則

適用する競技規則は、令和6（2024）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定。以下「大会競技規則」という。）並びに別に定める競技別実施要項及び競技別実施要領によるものとする。

## 15 表彰

- (1) 個人競技については、各組単位で、原則として同一区分毎に1位から3位までの選手にメダルを授与する。  
陸上競技における視覚障害選手の伴走者およびボッチャにおけるランプオペレーターについても、選手と同様にメダルを授与する。

- (2) 団体競技については、優勝チームに賞状、優勝杯等、2位、3位のチームに賞状、1位から3位までの選手にメダルを授与する。

#### 16 競技・種目及び障害・年齢区分

- (1) 競技・種目及び障害区分は、大会競技規則第2条2<別表1>「全国障害者スポーツ大会競技・種目」のとおりとする。
- (2) 大会競技規則第2条3に定める年齢区分の基準日は、令和6（2024）年4月1日とする。

#### 17 参加申込み

- (1) 参加申込みは、大会競技規則第2条2<別表1>に示された競技の中から1競技を選ぶものとし、実施種目が複数ある場合については、次のとおり選択して申し込むことができる。
  - ① 陸上競技及び水泳は、リレー種目を除き第3希望までの種目を選択する。なお、リレー種目はこれとは別に選択する。
  - ② フライングディスクは、アキュラシーのディスリート5またはディスリート7のいずれか及びディスタンスの2種目を選択する。
  - ③ アーチェリーは、リカーブ部門またはコンパウンド部門のいずれかの1種目を選択する。
- (2) 開催地主催者は、申し込まれた種目の中から出場種目を決定し、派遣者に通知する。

#### 18 出場制限

- (1) 個人競技  
個人競技に出場する選手は、1競技のみに出場できるものとし、実施種目が複数ある競技については、出場種目は2種目以内（リレー種目に出場する場合は3種目以内）とする。  
ただし、開催地主催者が地理的条件等何らかの理由により、出場競技・種目に制限を加える等の必要がある場合には、主催者で協議の上、決定することができる。
- (2) 団体競技  
団体競技に出場する選手は、他の団体競技及び個人競技には出場できないものとする。

#### 19 選手選考への配慮

都道府県・指定都市における出場選手の選考に当たっては、地域の障がい者スポーツの振興を図る観点から、これまでの全国身体障害者スポーツ大会、全国知的障害者スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会出場未経験者の出場に配慮する。

#### 20 全国代表者会議及び監督会議

- (1) 全国代表者会議  
令和6（2024）年\*月\*日（未定）
- (2) 監督会議
  - ① 期日  
令和6（2024）年10月25日（金）  
※ただし、アーチェリー競技については10月26日（土）とする。
  - ② 時間及び会場  
別に定める。



## 21 選手団の派遣及び参加費用

- (1) 選手団は、都道府県・指定都市（以下「派遣者」という。）が派遣する。
- (2) 派遣者は、開催地主催者に対し、所定の手続きをもって選手団及び出場選手の競技・種目の申込みを行う。
- (3) 選手団の派遣に要する費用は、派遣者が負担する。

## 22 健康・安全管理

選手団の健康・安全面については、派遣者において十分配慮するものとし、主催者においては、応急の処置のみを行う。

## 23 宿泊

選手団の宿泊は、開催地主催者において確保し、宿泊料金等は別に定める。

## 24 オープン競技

次の競技をオープン競技として、次のとおり実施する。なお、実施に関する必要な事項は別に定める。

実施競技	開催期日	会場地	会場名
ブラインドテニス	2024年4月6日（土） ～7日（日）	神崎市	神埼中央公園体育館
ソーシャルフットボール	2024年4月13日（土） ～14日（日）	佐賀市	SAGAサンライズパーク SAGAプラザ
ウォーキングフットボール	2024年4月14日（日）	佐賀市	SAGAサンライズパーク SAGAアリーナ
ふうせんバレーボール	2024年5月19日（日）	上峰町	上峰町体育センター 上峰中学校体育館
パラサーフィン	2024年9月29日（日）	唐津市	東の浜 (虹の松原周辺)
電動車椅子サッカー	2024年10月19日（土） ～20日（日）	嬉野市	U-Spo (嬉野市中央体育館)
スポーツウエルネス吹矢	2024年10月20日（日）	武雄市	CableOne SPORTS PARK (武雄市民体育館)
卓球バレー	2024年10月20日（日）	基山町	基山町総合体育館

## 25 個人情報及び肖像権に関わる取扱い

- (1) 主催者は個人情報保護に関する法令を遵守し、参加申込で得た情報を第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」に係わる業務のために利用し、目的以外に利用しない。
- (2) 参加者は、参加申込書の提出をもって、大会中に撮影された写真及び映像の公開に関する取扱いについて承諾をしたものとする。
- (3) その他の取扱いについては、国民スポーツ大会における個人情報及び肖像権に関わる取扱いに準じる。

## 26 SAGA2024の取り組み

### (1) すべての人が安心して参加でき、一人一人が輝ける大会の運営

佐賀県では、お年寄りや障がいのある方、子育て・妊娠中の方など、みんなが自然に支え合い心地よく過ごせる、佐賀らしいやさしさのカタチ「さがすたいる」を広める取り組みを行っている。

SAGA2024国スポ・全障スポにおいても、「さがすたいる」の理念に沿って、年齢、性別、国籍、障がいの有無などに関わらず、選手、観る人、支える人など、大会に関わるすべての人が安心して参加することができ、みんなで支え合い、一人一人が自分らしく輝くことができる大会となるよう運営する。

### (2) 選手の活躍にスポットを当てた表彰

選手の活躍は、観る人、支える人などにとって「感動する。魂が揺さぶられる」など「スポーツのチカラ」を多くの方に届けることができる。それぞれの選手の活躍にスポットを当てた「称える・伝える」表彰制度を創設し、表彰する。

### (3) 観戦機会の拡大

「すべての人に、スポーツのチカラを。」の実現に向け、日本そして世界から誰もが大会の観戦・応援ができる環境づくりとしてインターネットを活用した正式競技の動画配信に取り組む。

### (4) 健康づくりの推進

健康増進法（平成14年法律第103号）の趣旨に鑑み、開・閉会式会場及び競技会場を原則禁煙とする。また、望まない受動喫煙を生じさせることがないように、大会参加者は、会場周辺の道路や駅、一般の店舗等における受動喫煙防止についても十分に配慮すること。

### (5) 表彰者の拡大

第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」から、選手と競技支援者が同じ感動を分かち合うため、陸上競技における視覚障害選手の伴走者およびボッチャにおけるランプオペレーターについても、選手と同様にメダルを授与する。

## 27 その他

この要綱に定めるもののほか、大会の実施に関して必要な事項は別に定める。

### 附 則

この要綱は、令和6（2024）年3月7日から施行する。



# <別表1> 第23回全国障害者スポーツ大会競技・種目

## 1. 陸上競技

◎男女別・年齢区分別

△男女混合・年齢区分なし

▲男女別・年齢区分なし

区分番号	障害区分	競走						跳躍			投てき					
		※2 50m	100m	200m	400m	800m	1500m	※1 4×100mリレー	スラローム	走高跳	立幅跳	走幅跳	砲丸投	ソフトボール投	ジャベリックスロー	ピンバック投
1	上肢	1	◎	◎				◎			◎	◎	◎	◎	◎	
		2	◎	◎				◎		▲	◎	◎				
		3	◎	◎						▲	◎	◎				
	上肢	4	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎	
		5	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎	
		6	◎	◎							◎		◎	◎	◎	
		7	◎								◎		◎	◎	◎	
		8											◎	◎	◎	
	体幹	9	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎	
2	車いす専用以外で 車いす専用以外で	10	◎	◎				◎								◎
		11		◎	◎		◎	◎	◎							◎
		12		◎	◎		◎	◎	◎					◎	◎	◎
		13		◎	◎		◎	◎	◎					◎	◎	◎
		14		◎	◎		◎	◎	◎					◎	◎	◎
15		◎	◎		◎	◎	◎					◎	◎	◎		
3	(脳性麻痺・脳原性麻痺 脳血管疾患・脳外傷等)	16	◎					◎								◎
		17	◎					◎								◎
		18	◎					◎						◎	◎	
		19	◎	◎	◎		◎	◎	◎					◎	◎	◎
		20												◎	◎	◎
		21	◎	◎	◎			◎				◎	◎	◎	◎	◎
		22	◎	◎	◎			◎				◎	◎	◎	◎	◎
4	23						◎								◎	
視覚障害 ※5	24	◎	◎	◎		◎	◎				◎	◎	◎	◎	◎	
	25	◎	◎	◎		◎	◎			▲	◎	◎	◎	◎	◎	
聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害	26	◎	◎	◎		◎	◎			▲	◎	◎	◎	◎		
知的障害	27	◎	◎	◎	◎	◎	◎		△	▲	◎	◎	◎	◎	◎	
内部障害	28	◎					◎				◎	◎	◎	◎		

※1 4×100mリレーは男女混合とする。

※2 50m競走で使用使用する車いすは日常生活用とする。

※3 体幹とは頸部・胸部・腹部及び腰部(脊柱)のみに変形がある者(脊柱カリエス等による体幹の障害が該当する)。

ただし、四肢の機能障害を伴う場合は体幹の機能障害であってもこの区分には該当しない。

※4 複数の障害区分にわたり1つの◎がついている場合は、1つの区分として競技をおこない、順位を決定する。

※5 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。

※6 障害区分24は光を通さないアイマスクまたはアイシェードを装着する。

【注】 競走競技は50mと100m、跳躍競技は立幅跳と走幅跳、投てき競技は障害区分8を除き、

ソフトボール投とジャベリックスローの両方に申し込むことはできない。

## 2. 水泳

◎男女別・年齢区分別 ○男女別・1部 ●男女別・2部 △男女混合・年齢区分なし

		区分番号	障害区分	自由形		背泳ぎ		平泳ぎ		バタフライ		※1 フリーリレー 4×50m	※1 メドレーリレー 4×50m
				25m	50m	25m	50m	25m	50m	25m	50m		
1	上肢	1	手部切断	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		2	片前腕切断または、片上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		3	片上腕切断または、片上肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		4	両前腕切断または、両上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		5	両上腕切断または、両上肢完全 片前腕および片上腕切断	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
	下肢	6	片下腿切断または、片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		7	片大腿切断または、片下肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		8	両下腿切断または、両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		9	両大腿切断または、両下肢完全 片下腿および片大腿切断	◎	◎	●	○	●	○	◎			
	上下肢	10	片上肢切断および片下肢切断 片上肢不完全および片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎			
		11	多岐切断または、片上肢完全および片下肢完全 両上肢不完全および両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎			
	2	脳原性麻痺以外で 車いす常用	12	体幹	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
13			第7頸髄まで残存	◎	◎	◎		◎					
14			第8頸髄まで残存	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
15			下肢麻痺で座位バランスなし	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
脳原性麻痺 (脳脊髄性、脳血管性麻痺、脳外傷等)		16	下肢麻痺で座位バランスあり	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		17	四肢麻痺（車いす常用）または、上肢に著しい 不随意運動を伴う走不能	◎	◎	◎		◎					
		18	両下肢麻痺または、 上肢に軽度の不随意運動を伴う走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		19	片側障害で片上肢機能全廃	◎	◎	●	○	●	○	◎			
		20	その他の片側障害で走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
4		21	その他走可能	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		22	浮具使用	◎	◎	◎		◎					
視覚障害 ※2		23	視力0から0.01まで ※3	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
	24	その他の視覚障害	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
聴覚・平衡機能障害、音声・ 言語・そしゃく機能障害	25	聴覚障害	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
知的障害	26	知的障害	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	

※1 フリーリレー、メドレーリレーは男女混合とする。

※2 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。

※3 障害区分23は光を通さないゴーグルを装着する。

### 3. アーチェリー

●男女別

	区分番号	障害区分	リカーブ		コンパウンド		
			50m・30m	30m・30m	50m・30m	30m・30m	
肢体不自由	脳原性麻痺以外で 車いす常用	1	第8頸髄まで残存	●	●	●	●
		2	その他の車いす	●	●		
	切断・機能障害	3	上肢障害	●	●		
		4	下肢障害 (椅子、車いす使用を含む)	●	●		
		5	体幹	●	●	●	●
	6	脳原性麻痺 (脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等)	●	●			
聴覚・平衡機能障害、 音声・言語・そしゃく機能障害	7	聴覚障害	●	●			
内部障害	8	ぼうこう又は直腸機能障害	●	●			

※「第8頸髄まで残存」には、「第6頸髄まで残存」および「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする。

### 4. 卓球

◎男女別、年齢区分別

●男女別

			区分番号	障害区分	卓球	STT
肢体不自由	1	上肢障害	1	片上肢障害	◎	
			2	両上肢障害	◎	
		下肢障害	3	片下腿切断または、片下肢不完全	◎	
			4	片大腿切断または、両下腿切断 片下肢完全または、両下肢不完全	◎	
			5	片下腿および片大腿切断 両大腿切断または、両下肢完全	◎	
		6	体幹	◎		
肢体不自由	2	脳原性麻痺以外で 車いす常用、使用	7	第8頸髄まで残存 ※1	◎	
			8	座位バランスなし	◎	
			9	その他の車いす	◎	
	3	脳原性麻痺 (脳性麻痺、脳血管疾患、 脳外傷等)	10	車いす使用	◎	
			11	杖または、松葉杖使用	◎	
			12	上肢に不随意運動あり	◎	
			13	上肢に不随意運動なし	◎	
			14	片側障害	◎	
視覚障害 ※2			15	アイマスクまたは、アイシェードあり ※3		◎
			16	アイマスクまたは、アイシェードなし	◎	
聴覚・平衡機能障害 音声・言語機能障害、そしゃく機能障害			17	聴覚障害	◎	
知的障害			18	知的障害	◎	
精神障害			19	精神障害	●	

※1 「第8頸髄まで残存」には、「第6頸髄まで残存」および「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする。

※2 視力・視野の程度に関わらず、アイマスクまたは、アイシェードの有無で出場競技を分ける。

※3 障害区分15は、各自で用意した光を通さないアイマスクまたはアイシェードを装着する。

### 5. フライングディスク

◇区分なし ●男女別

	アキュラシー		ディスタンス	
	ディスリート5	ディスリート7	座位	立位
肢体不自由				
視覚障害				
聴覚障害	◇	◇	●	●
知的障害				
内部障害 (ぼうこう又は直腸機能障害)				

## 6. ボッチャ

△男女混合・年齢区分なし

		区分 番号	障害区分・解説	競技スタイル		
				立位	座位	
肢 体 不 自 由	1	切断・機能障害	1	多肢切断 両下肢完全 両上肢不完全および両下肢不完全	△	
	2	脳原性麻痺以外で 車いす常用、使用	2	第6頸髄まで残存		△
			3	第7頸髄まで残存		△
			4	第8頸髄まで残存		△
			5	多肢切断		△
	3	脳原性麻痺（脳性麻痺、脳 血管疾患、脳外傷等）	6	四肢麻痺で車いす常用または、使用		△
			7	けって移動		△
			8	片上下肢で車いす常用または、使用		△
			9	その他走不能	△	
	4		10	電動車いす常用		△

※座位とは、車いす及び椅子に座った競技スタイルを言う。

※座位で競技する選手（区分2～8および10）で、移動したり、方向を変えたりすることが機能的に困難な者にスポーツアシスタントを、ランプ使用者にはランプオペレーターをそれぞれ選手1名につき1名を認める。

※立位で競技する選手については、安全上の配慮から、投球時以外はボックス内に椅子を準備し、座位にて待機してもよい。

※脳原性麻痺で、四肢に可動域制限や協調運動障害がある者で上肢による車いす使用者はすべて四肢麻痺（区分6）として区分判定する。

※区分10は、四肢もしくは三肢体幹機能障害により電動車いすを常用している者を対象とする。

## 7. ボウリング

知的障害者で男女別、年齢区分別に実施する。

## 8. バスケットボール

知的障害者で、男女別に実施する。

## 9. 車いすバスケットボール

肢体不自由者の車いす使用者で、競技規則第9部第3条の規定に該当する者。

## 10. ソフトボール

知的障害者のみの競技とする。

## 11. グランドソフトボール

視覚障害者のみの競技とする。

## 12. バレーボール

聴覚障害者と知的障害者で、男女別に実施する。

精神障害者は、男女混合とする。

## 13. サッカー

知的障害者のみの競技とする。

## 14. フットソフトボール

知的障害者のみの競技とする。